

桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画（案）に係る意見交換会の実施結果について

1 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
2月13日（月）18時～20時	弥生区民活動センター	14人
2月19日（日）14時～16時	弥生区民活動センター	7人

2 意見交換会で寄せられた主な質問・意見について

【小学校について】

	主な質問・意見	区の考え方
①	太陽光パネルスペースや屋上緑化スペースが全て北側に配置されているが、太陽光が十分に当たらないのではないかと。	太陽光パネルスペースや屋上緑化スペースについては、最適な設置場所を引き続き検討していく。
②	音楽室や家庭科室が普通教室の正面に配置されている案もあるが、楽器の音・振動や声、家庭科室からの匂い等によって児童の集中力が削がれるようなことはないかと。	防音対策等を徹底し、良好な教育環境を確保していく。
③	プールの設置にあたっては、屋内温水プールを検討してほしい。屋内温水プールが難しいのであれば、屋上プールに直射日光を避けるための屋根を設置してほしい。	屋内温水プールの設置は考えていない。 日よけの設置など、直射日光を避けるための工夫を検討していく。
④	プールの設置にあたり、視線対策や騒音対策は考えているのか。	プールの設置にあたっては、周囲からの視線対策や防音対策を徹底していく。

⑤	屋上は児童が活動できるような場所になるのか。	屋上の具体的な利用方法については、学校関係者の意見等も踏まえ、今後検討していく。
⑥	普通教室の壁は固定されたものになるのか。使用していない普通教室の壁を移動させて多様な用途で使えるようにできないのか。	使用していない普通教室を多様な用途で使えるように設計していきたいと考えている。
⑦	南側に開放施設用の門が設置されているが、南側の道路と学校敷地とでは高低差がある。高齢者や車椅子の方の利用についてどのように考えているのか。	スロープの設置や学校敷地を削り道路と同じ高さにするなどを検討している。施設整備にあたっては、高齢者や車椅子の方等も不自由なく利用できるユニバーサルデザインによる施設づくりを行っていく。
⑧	設置するエレベーターは貨物も運べるものか。	バリアフリー対応のエレベーターを設置し、貨物も載せられる広さを確保していく。
⑨	開放施設利用者用の駐輪場は設置されるのか。	開放施設利用者用の駐輪場を設置する。
⑩	体育館に冷暖房は設置されるのか。	体育館には冷暖房設備を設置する。

⑪	校庭は、天然芝にするのか、それとも人工芝になるのか。	校庭の材質については、児童の使用実態や維持管理コスト等も踏まえたうえで、他区の事例も参考にしながら、引き続き検討していく。
---	----------------------------	---

【地域開放型学校図書館について】

⑫	地域開放型学校図書館は、どの程度の大きさとなるのか。	約280㎡のスペースの中に、当該校の児童が優先的に利用する区画と一般利用者が常に利用できる区画に分けて、書架や閲覧スペースを設けるとともに、本の検索、予約、貸出、返却ができるスペースや親子読書コーナーを設置する。
⑬	地域開放型学校図書館は、土日祝日も利用できるのか。	年末年始や休業日、館内整理日を除き、土日祝日も利用できる。

【キッズ・プラザについて】

⑭	新校舎に整備する学童クラブには統合による児童数の増加について配慮されているのか。	キッズ・プラザの中に整備する学童クラブと学区内に誘致する民設民営の学童クラブとで現状以上の定員を確保していく。
⑮	キッズ・プラザには、現在の児童館の機能がそのまま入るのか。また、中学生は対象でないのか。	児童館の機能のうち、小学生を対象とした機能がキッズ・プラザに入る。中学生はキッズ・プラザの対象とならない。

【その他】

⑩	配置案について、いつまで議論するのか。また、設計を行う時点で配置案が最終決定されるというのがそれはいつなのか。	基本的な配置については、平成28年度中に策定を予定している基本構想・基本計画で示していく。その後の設計の中で諸室の配置や教室等で使用する材質等についてさらに検討を進めていく。基本設計は平成29年度中、実施設計は平成29・30年度に行い、建築工事は平成31・32年度の2年間にわたり行っていく予定である。
⑪	キッズ・プラザや地域開放型学校図書館等の開放部分と学校部分は、壁で分けられるのか。また、出入口は別となるのか。	児童の安全を確保するため、開放部分と学校部分の門や出入口は完全に分けて配置する。